

HEALTH CARE

The Newsletter of the Japan Health Care Dental Association

vol.16 no.3

(年間6回刊行・通巻092号)



日本ヘルスケア歯科学会

事務局 東京都文京区関口 1-45-15-104

Tel. 03-5227-3716

Fax. 03-3260-4906

URL <http://www.healthcare.gr.jp>

E-mail : center@healthcare.gr.jp

編集代表 渡辺 勝

編集制作 有限会社 秋 編集事務所

学会入会金 歯科医師 5,000円
 その他 3,000円
学会年会費 歯科医師 12,000円
 その他 6,000円
郵便振替口座 00190-7-407895
 名義 一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会
銀行振込口座 三菱東京UFJ 江戸川橋支店
 普 0051809
 名義 一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会

重要なお案内

●以下の同封物をご確認ください。

1. HCM2013 案内

ヘルスケアミーティング2013, 10月26・27日開催です。ぜひみなさんでご参加ください。

2. HyG-Times no.23

催しものご案内

① 歯科衛生士東京検定コース

日時：2013年7月14・15日

会場：太陽歯科衛生士専門学校

② 認証ミーティング

日時：2011年7月21日

会場：東京八重洲ホール 会議室

▶詳細 p.2

③ヘルスケアミーティング2013

日時：2013年10月26・27日

会場：シェーンパツハ・サポー

▶詳細 p.12-16

巻頭 認証ミーティングに参加しましょう p.1	患者様の苦痛を取り除け! 15 p.8
認証ミーティング案内 p.2	告知板 p.9
報告 IAPDに参加して p.3	WHY KIDS? p.10
学術論文を検索してみよう! p.4	ヘルスケアフォーラム p.11
ファイルメーカーを自由なスタイルで使いこなして p.6	ヘルスケアミーティング2013 案内 p.12
診療の変化に柔軟に対応しよう! p.6	

認証ミーティングに参加しましょう

田中正大 (コアメンバーメンバー)

Web上の歯科医院のホームページには、たいてい「予防歯科」の文字があります。国民の健康意識の高まりにともない、う蝕や歯周病の予防に対するニーズが出てきていることもあるのですが、予防歯科を実践する歯科医院が増加することによって、歯科疾患を予防するという意識が国民の間に広がっていくことはとてもいいことです。

ただ、私にはどうもすっきりしない思いがあります。

予防歯科をやっている診療所とやっていない診療所に通う患者さんたちの間にどのような差が出るのでしょうか？ 何か問題が起こったときだけ診療所に行く人ときちんと通っている人の間にはどのような差が出るのでしょうか？ ある診療所の予防診療と、別の診療所の予防診療にはどんな差があるのでしょうか？ 同じ診療所でも歯科医師間、担当歯科衛生士間にどのような差があるのでしょうか？

感覚的には多くの歯科医療従事者はわかっているのだらうと思いますが、他者にその効果をアピールするには、データをとって分析しないとわからないことだらけです。

私は、ヘルスケア型歯科医療の基本は、

「記録をとる」

「情報提供する」

「チームとして対応する」

「関わり続ける、支援する」

だと思っています。

記録をとることの大切さ、そしてそれを時間軸の中で評価し続けること、また、その記録を患者横断的に分析することで得られる情報を、自分のクリニックの中でフィードバックする、学会としてその情報を共有、分析する。それをまた自院のデータと比較する。

このような多くの臨床データを扱うことのできる学会はあまり多くないと思います。このことは日本ヘルスケア歯科学会の大きな特徴です。

私たちの考えるヘルスケア型の歯科医療を広めていくためには、それを誰もが明確にわかる形で、アピールしていくことが必要です。

日本ヘルスケア歯科学会の設立趣旨をもう一度読んでみませんか？

学会ホームページ→About→設立趣旨 で読むことができます(会誌巻末にも掲載されています)。

今なお、読む者の心を打つメッセージだと思いますが、その最後に、

この趣旨に賛同する多くの研究者や歯科医療関係者、そしてそのような医療の展開を期待する人々の協力を得て、ヘルスケア・マネジメントに関する情報を発信し、また人々に新しいヘルスケアのメッセージを届けたい。同時に、臨床の現場でこのような医療を実践できる歯科医師や歯科衛生士を養成し、またヘルスプロモーションのリーダーとなる歯科医療人を育てたい。そして、その日常の活動から生まれた成果を歯科医療・歯科保健関係者に広めることにより、社会環境の整備にも影響を与えたい。

人々が生涯にわたって快適な咀嚼と自由な会話と若さと尊厳に満ちた微笑みを維持することができるように、私たちは自らの足もとから医療のありかたを改めるために力を合わせることにした。

とあります。

「医療のありかたを改めるために」「力を合わせることにした」と宣言してこの学会は始まったのです。

医療のありかたを改めるには、自らが変わっていくことはあたりまえとして、国民、国、保険者、歯科医療関係者に、ヘルスケア型歯科医療の普及が、保険者や国に負担を強いることなく（むしろ利益になり）、どれだけ国民の口腔の健康に寄与し、歯科医療従事者に誇りとやりがいを与えるかをしっかりと訴えていかなければなりません。

そのためにも、認証診療所の増加が望まれます。ヘルスケア型歯科医療を「ある程度」（完璧に、ではありません）実践していると思われる歯科医院を認証するのが認証診療所制度です。データ蓄積の要になりますし、患者さんが引越されたときの紹介先にもなるのですが、『だから認証診療所を目指そう!』というのと、『認証とって、なにか得があるのですか?』と聞かれることがよくあります。

大きな挑戦ではありますが、いいことはたくさんあります。自院のやっていることを振り返り、プレゼンにまとめて発表するという一連の作業は、院長・スタッフにとって極めて大きな成長の機会になります。格安で患者アンケートを実施することができ、患者目線での自院評価を知ることができます。

もちろん、これらの結果は必ず自院の臨床にフィードバックされていきます。そして、認証診療所であるという事実が、自院のさらなる成長のエンジンになっていきます。なにより、それは来院してくださる患者さんの利益に直結していくことです。

ただ、残念なことにその多くは認証診療所になった後で実感できるもので、なかなか事前に想像することは難しいのかもしれない。とにかく、だまされたと思って挑戦してみてください。

今後、認証申請を考えているみなさん、認証ミーティングでお待ちしています。



第11回 認証ミーティング

2013年7月21日(日) 12:30～17:30

東京八重洲ホール 201 会議室（東京駅八重洲口） 東京都中央区日本橋3-4-13 <http://www.yaesuhall.co.jp/>

参加無料!

外部審査員：田辺 功：フリージャーナリスト 株式会社ココノッツ代表取締役特別顧問
朝日新聞社科学部次長（デスク）等を経て、東京本社編集委員（医学・医療担当）。一貫して患者の立場に立ち、医療の問題点を掘り下げた医療報道を進める
2008年、フリーの医療ジャーナリストとしての活動を開始。
2008年、朝日新聞連載「それ本当ですか？ニッポンの科学」で、日本科学技術ジャーナリスト会議主催「科学ジャーナリスト賞2008」受賞

木下正一郎：弁護士 きのした法律事務所（練馬区）
【著書（共同執筆）】
Q&A インターネット商取引ハンドブック（弘文堂）
地方自治 IT 法務大全（日経 BP 社）
医療事故の法律相談＜全訂版＞（学陽書房）
専門訴訟講座④医療訴訟（民事法研究会）
医療問題弁護団所属

12:30 開会「健康を守り育てる診療所」認証について 田中正大
12:40 ① 医療法人 あべ歯科医院（代表・阿部敬典・徳島市）
質疑（5分）
13:10 ② 羽山歯科医院（代表・羽山勇・大和高田市）
質疑（5分）
13:40 ③ 医療法人満月会 大月歯科医院（代表・大月晃・富士見市）
質疑（5分）
14:10 休憩
14:20 ④ 武内歯科医院（代表・武内義晴・日野市）
質疑（5分）
14:50 ⑤ さくら歯科医院（代表・上田康弘・草加市）
質疑（5分）

15:20 休憩
15:30 結果発表・講評
15:40 併催セミナー
1 タッチパネルで初期う蝕（ICDAS コード）の経過観察
—ウイステリアニューバージョンの可能性 藤木省三
2 乳歯の萌出から始まる家族の健康管理
—ウイステリアキッズで何が出来るか 木村めぐみ
3 認証への道
17:30 閉会
18:00 懇親会

報告

IAPD 2013 in Seoul に参加して

杉山精一（日本ヘルスケア歯科学会代表）

IAPD（International Association of Paediatric Dentistry）（Pediatric が一般的表記だと思いますが、ウェブサイト等には Paediatric の表記です）がソウルで開催され、参加してきました。

この学会への参加は初めてですが、いくつか目的がありましたので、その報告をしておきます。

1) Svante Twetman (Denmark) の Keynote Lecture に参加する

Twetman 先生は、カリエスリスクアセスメントについてわかりやすいレビューを書いていて、ぜひとも話を聞いてみたかった先生です。今回は、「Control the biofilm」というタイトルで、カリエスの細菌学の話を経史的な観点で整理して、最新のプロバイオティクス（probiotics）の話までわかりやすいスライドでした。Pamela Hasslöf 先生の Probiotic Lactobacilli in the context of dental caries as a biofilm-mediated disease を読むと理解できるようです。

2) Ivar Espelid 先生の講演に参加する

臨床的なエックス線写真の診断などの研究の論文を書いている、Norway の先生です。EAPD で Guideline on the use of Dental Radiographic を書いていて、これを日本語に翻訳する許可をいただくお願いをするのが目的です。講演前にご挨拶したところ「いいですよ」との返事をいただきました。現在、作業を進めているアイルランドのフッ化物応用のガイドラインとともに、日本での、カリエスマネジメントに重要なものとなると思います。

3) ICON® の 5 年経過の報告

隣接面初期カリエスに対する処置として重要になると思われる ICON® の 5 年経過報告は、予想どおりいい結果のようで



す。論文発表はまだですので、詳細は論文を読んでからになります。

4) MIH のポスター発表

日本ヘルスケア歯科学会が協力して、千葉県八千代市で東京歯科大学小児歯科学講座が実施した MIH（エナメル質形成不全症）調査をポスター発表しました。偶然にもトルコのイスタンブールで実施した MIH 調査とほぼ同様の発現率で、発表者どうしでディスカッションが盛りあがりました。

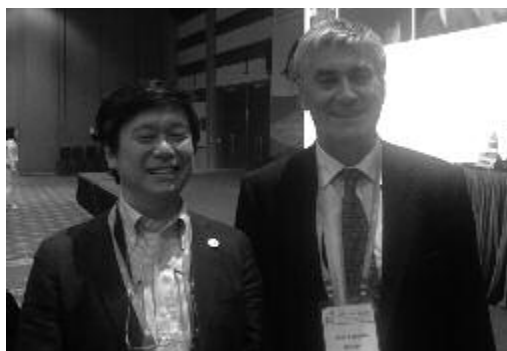
どちらも 1,000 名以上の大規模調査で、国ごとの発現率や、MIH の発現要因の調査としても重要な報告となりました。

海外の学会参加には、英語の壁がありますが、スライドやポスターは、写真やイラストもあり、専門用語は理解しやすいと思います。科学分野の研究は、インターネットの普及で国境という垣根がなくなりつつあります。そのコミュニケーションツールとしての英語です。また、論文を読んでも、著者のことを知るとさらに理解が深まります。

今回の IAPD では、「リスクアセスメントは大事だけれど臨床医は忙しいんだ!」「削って詰めることは、歯科医の収入源、このシステムを変えないと…」 「リスクアセスメントは、いろいろあって…」 など、普段私たちが、悩み話していることは、実は、どの国でも共通の悩みだということがよくわかりました。

日本が遅れていて海外が進んでいるから海外の知見を勉強しよう、ということではなくて、日本ヘルスケア歯科学会は

世界の中でもトップランナーの臨床医の集団だという自信をもって、お互いに話しあうことが必要だという思いを強くして、帰国の途につきました。



学術論文を 検索してみよう！

宮本 学（宮本歯科・矯正歯科・神戸市）

EBMの重要性が叫ばれるようになって学術論文を検索してみようと考えておられる方が増えていると思います。ここでは初心者がいかに簡単に学術論文を探して読んでいくのか？という手法について述べていきます。

論文検索に王道はありません。結局は検索にひっかかった論文の title と abstract を斜め読みして目的とする論文をピックアップしていくしかありません。そこでまずは論文そのものについてのうんちくを。

タイトル (title)

論文の顔です。内容を端的に表しているべきものです。かつて和文論文では「～の解析」とか「～の一考」などいかにも日本的な感覚、つまり「言いたいことをはっきり言わない」感覚に沿ったタイトルが付けられていました。当然検索する側にとっては百害あって一利なし。最近は随分と直接的な表現のタイトルになっています。

著者 (authors)

多くが複数の人の共著になっています。一応、順番に決まっています。筆頭の名前はあたりまえですが書いた人です。2番目に共同研究者、あるいは指導者の名前があります。そして最後はボス、大学であれば教授、あるいは研究費を出してくれた人です。あとは「その他大勢」、研究を支えてくれた人、単なる名前だけの人… いろいろです。

要旨 (abstract)

要旨をいかに早く正確に読むかが最も重要です。斜め読みでさらっと読めりゃ最高ですが、そこまではちょっと… と感じられるなら、まず、最初と最後、つまり論文の目的と結論を読みます。タイトルとこれでどういったことをやった論文かがわかります。

次に方法を読みます。目的にあった方法か？ で調べたい論文かどうかを判断します。

最後に結果を読みます。

検索にはこれで十分ですが、ある論文が引用されていた場合に「それがどういう根拠によるものか？」という疑問は多くの場合 abstract を読むだけではわかりません。論文全体を読んでその隅っこに書いてある一文や結果の表の一部が引用されていたりすることもあり注意が必要です。

PubMed (パブメド) を使って英語論文を検索してみよう！

検索にはネット利用が一番！ということで医学系論文を検索するには PubMed (<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed>) を利用していきます。もともと MEDLINE (メッドライン) と呼ばれる医学系雑誌のデータベースがありました。これがネットに無料公開されたものです。

● MeSH term (メッシュ用語)

MEDLINE は文献をデータベース化するうえで独自の医学用語で分類しています。一つの論文に 10 個以上の MeSH term, つまり独自のキーワードをつけています。

実際に文献を検索してみよう！

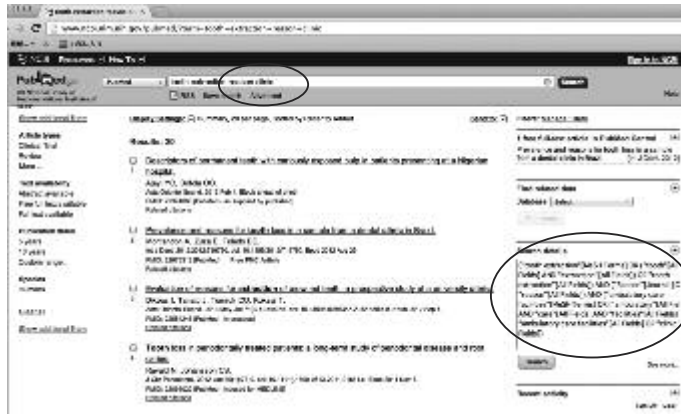
日本ヘルスケア歯科学会誌の第 13 巻に藤木省三さんの論文があります。タイトルは「定期管理型診療所における永久歯の抜歯原因」。具体的にこの論文と同様の論文を検索してみましよう (検索は 2013 年 1 月時点)。

まず tooth extraction reason と入力してみます。222 論文がでてきました。論文は年代の新しい順にリストアップされてきます。しかしこれでは多すぎ！



ページの右列に Search details という欄があります。入力した単語の検索の詳細が書いてあります。tooth extraction reason はそれぞれの単語が All Fields つまりすべてから検索されていますが、tooth extraction という単語は MeSH term になっています。つまり抜歯に関する論文はすべて網羅されているはずです。

222 は多すぎるので、tooth extraction reason の後に clinic をつけてみます。結果は 20 になりました。これくらいで斜め読みを始めましょう。



ちなみに Search details をみると clinic という単語には ambulatory care facilities という MeSH term が自動的につけられています。難しい単語ですが、「外来診療施設」の意味で、そのキーワードの論文を自動的に絞っています。

20 論文に絞られましたが、実際の内容はまちまちです。そこでここからは

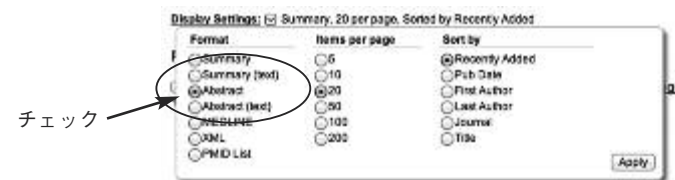
- ① タイトルでピックアップしていきます。タイトルでピンときたらタイトルをクリック。
- ② Abstract が出てきますので、これを斜め読み。当たりと思われればページを戻ってタイトル横の□にチェックマークをいれていきます。
- ③ 複数の論文をピックアップします。



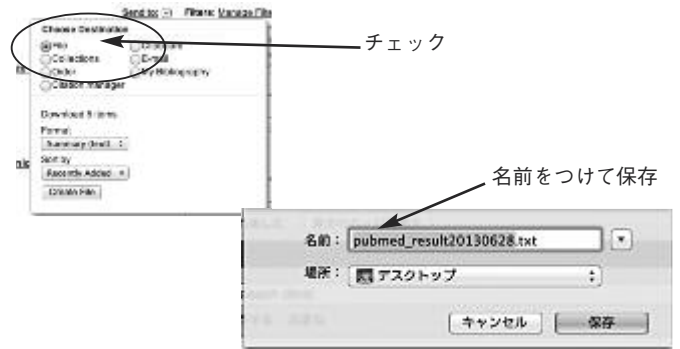
abstract が表示される



- ④ 結果を保存します。abstract つきで保存することをお勧めしますので、ページトップ中央の Display Settings をクリックし Abstract にチェックマークをいれれば表示が変わります。



- ⑤ さらに中央左よりの Send to をクリックし File にチェックをいれればテキストファイルとして保存されます。必ず適当な名前を付けておきましょう。



以上が基本的検索方法です。

いかに有効なキーワードを入力するか？ が勝負です。まずはタイトルに含まれている単語を入れてみるなどしてみましょう。また各論文の MeSH term はページの abstract の下にある MeSH terms をクリックすればずらっと現れます。このうちの参考になる単語を入力してみるのも有効です。

右列の Recent activity には検索の履歴が表示されますので、それを参考にキーワードを変えて入力してみます。

さらに「これっ」という論文がみつかったら Related citations をクリックします。今度はその論文に近いものが近い順に出てきますので、これらの中からさらに検索を進めていきます。

また、実際に雑誌等で引用されている論文の abstract を読みたいときには著者名から検索するのが便利です。入力には姓のフルネームと名前のイニシャルです。私であれば Miyamoto M です。ありふれた名前では多量に検索されますので、2人くらい入力すれば目的の論文が出てきます。

目的とする論文が出てきた場合はその全文をネット上で出版社に注文して購入することが可能です。論文ページの右上に出版社へのアクセスボタンがあります。ただし1論文で数十ドルと結構高価な買い物です。

雑誌の中には全文を無料で入手できるものもあります。残念ながら少数でしかもさほど有名でない雑誌が主です。PubMed では検索画面の論文名の最後の Free Article をクリックすれば全文が読めます。

英語に加えて論文というかしこまった文章となると、実際に読むには大変な障壁であることに間違いありません。しかし、検索されたものを斜め読みするだけでも、「これってこういう風に調べたんだ」とか「これくらいしかわかってないんだ」がわかってくることがあります。臨床家にとってはマニアックな世界かもしれませんが、覗いてみてください。

ファイルメーカーを自由なスタイルで使いこなして診療の変化に柔軟に対応しよう！

新しい虫歯マネージメントのための検査結果説明書をイラスト・写真の組み合わせで作成した一例

藤原夏樹（広島市開業）

データベースソフトである FileMaker（以下 FM）を用いれば、保存している写真データを自由に配置したり、グラフを表示したり、あるいは背景にイラストを置くなどして表現力のある印刷物を作成することができます。ニュースレターでもこれまで、ウイステリア作者の藤木省三さんはもちろんのこと、会員の方々の様々なアイデアが掲載されてきました。一方、近年は ICDAS など新しい虫歯マネージメントが浸透しつつあり、医院側も（特に患者説明において）新たな対応を迫られています。

今回ご紹介する検査説明書は、昨年 vol.15 no.5 のニュースレターでも紹介したアメリカの虫歯マネージメント CAMBRA の診断・処置基準を元にして、FM から印刷できるようにしたものです。対象は幼児。リスク評価のために「リンゴ検査」と命名した検査を行っている最中に、検査・問診内容を FM に入力、印刷して、検査後その場で患者さんに渡して説明しています。

ポイントは、①幼児向けに親しみやすく興味を引く（ちょっと奇抜な）デザインにしたこと、② FM のスクリプト使用はそれほど必要ないため、要領さえつかめば他院でも参考にしやすいことです。

イラストは自分の使い慣れたソフトで作成し、FM のレイ

アウト画面にコピーペーストします。作図が難しければ、スタッフが手描きで描いた絵をスキャンし貼付けてもいいと思います。Apple Pages は（本来は作図ソフトではなく書類作成ソフトですが）透明度を調整出来る機能があり、透かし絵が簡単にできます。それは、そのまま FM に貼付け可能で、表現のバリエーションが広がりますよ。

口腔内写真は FM で管理し、リンクをはるようしておきます。それに加えて顔写真やポーズをとった写真を入れると印象強いものができるでしょう。

当院の場合は、ブルーバック（後ろに青や緑の布をたらしめた状態）でポーズをとってもらい撮影しています。それを Photoshop でトリミング、続いて Apple Pages にコピーし「インスタントアルファ」機能で上半身だけ切り抜きます。さらにそれを FM のオブジェクトフィールドにペーストしています。ちょっと面倒ですね。Windows PC での同様の方法は残念ながら確認していません。

こういったイラストが全面に入った説明書作成のコツは、最終的な完成予想図をできるだけ正確に作図ソフトであらかじめ作っておくことです。そうすれば完成予想図の中の FM のフィールド項目「以外」の部分をもとめてコピーし、そのまま FM のレイアウト画面にペーストすることができます。ウ



イステリアとリンクすれば、個人情報の入力も楽になりますよ。

患者さんにとって聞き慣れない歯マナーゲメントの情報も、グラフィックをうまく活用すれば、こちらの意図をわかりやすく相手に伝えることができるのではないのでしょうか。診

療内容の変化に応じた説明書作成技術に（説明不足ではありますが）本稿はスポットをあててみました。10月のヘルスケアミーティングでは、CAMBRAの導入過程や実際の臨床状況についてポスター発表する予定です。東京でお会いしましょう！



※ 複製し、ほかのレイアウトに活用されていますが、実際のファイルメーカーレイアウトとは異なります。

Diagnosis & Maintenance Menu
この説明書は初診検査から1年後の再検査の
ためのものです。前日データも並列して
比較しやすいようにしている。
良くなっていくほど大きさはほめる。
悪くなっていくほど小さくする一言を、
肯定的な表現は避けるようにしている。

Data of the Patients
ファイルメーカーの患者個人情報
(Witness や自作のもの) とリンクさせて
自動的に入力されるようにしておく。
写真は複数の撮影日があるので、
撮影 No. で選択できるようにする。
変更可入れしておくとうれしい。

Picture of the Background
Adobe Illustrator
Apple Pages などで作成すれば
そのままコピーペーストで
ファイルメーカーに配置可能。
その前に、作図ソフトすべての
データを配置して、完成予定図を
シミュレーションしておく。
本説明書の作図は Pages を使用した。

Print image
検査の結果だけでなく
小児の歯と関係する生活習慣の項目について
読書しデータベースに記録している。
その結果についてもチェックを入れて
本人・家族との会談に活用している。
大切なのは子供本人が早く自覚し、行動を起こすこと。
親はそれをサポートし生活習慣の中に取り入れること。
説明書はそのための素材なので
専門的な印刷や長い文章を避け
出来るだけ楽しい、情まい風情作りを心がけた。

ファイルメーカーと作図ソフトを使用して作成したリスク検査「リンゴ検査」の結果説明書
何かを制作する際は、一つの手段に固執することなく、類を重ねることで、よりよいコミュニケーションがとれるように構築することが重要と捉えます。
一見、資料と関係のない分野も経験員して、自分たちの能力・技能を磨き、常識にとらわれず、既存の方法論を変える意欲込みでいきましょう！



● 会員登録内容の変更について

住所、電話番号、ファックス番号、e-mail アドレス、準会員等の追加・変更がありましたら、事務局までファックスもしくは e-mail でお知らせください。

Fax: 03-3260-4906 e-mail: center@healthcare.gr.jp

事務局は月曜日から金曜日までの午前 9 時 30 分から午後 5 時 30 分までスタッフが常駐しています。お電話は時間内をお願いします

連載 15

患者様の苦痛を取り除け！ ～健康を守り育てるために～

野村英孝（前橋市開業 あすなろ歯科）

今回はインプラントの破折・脱離症例から。

この患者さんは、咬合力が強く、歯周病の進行もあって臼歯を喪失、咬合高径が低くなって、前歯もフレイアウトしている状態でした。もともと頬杖や横向きでTVを見る癖などがあったようです。この方の咬合を挙上して、2013年2月に $\overline{6}$ にインプラントの単独植立によりクラウンをセットしました。



図2 上部構造の破折



図3



図1

ところが… 1ヵ月もしないうちに、左下の上部構造が脱離…。「締めそこなったのか？」と思い、再度30ニュートンで固定。これで完全と思ったのも束の間。

その2ヵ月後、今度は上部構造が破折してきました！！もう、臨床やっててこういうトラブル嫌じゃないですか？ 自費とか、高額の治療でこのトラブルは嫌ですよ。患者様も不信になるでしょうし、こちらも「また～なんで～」って気持ちになります。このような患者様が来る朝は憂鬱です。電話がかかってくるだけでも嫌な気持ちになります。

1回目の脱離のとき、おそらく頬杖などの癖が残っているのだろうと、患者様に注意を促しました。ところが患者様は「最近気をつけています！」とはっきりお答えになり、わたしも患者様のせいばかりにできず、原因をつかみきれませんでした。

図2は、2回目のトラブルとなった上部構造の破折を生じたときのものです。

修理・再製作を決め、印象に取り掛かる手はずを取り、破折し中心裂溝が曲がっていた上部構造を $\overline{5}$ の中心裂溝に合わせ、手でしっかりと締め、スタッフに上顎の印象を依頼。終わったとの報告をうけたので、ユニットに戻ると…

図3のように、上部構造の近心が頬側に触れて、壊れて来院された最初の状態に戻ってしまいました。

「……?」見間違いか？ と思いましたが、おそろおそろ患者様に尋ねてみました…

私：「もしかして、舌でインプラントのところ押ししました？」

患者：「だって、型取る材料が挟まったんだもの！」

私：「もしかして、食べ物とかよく挟まります？」

患者：「ええ！ いつも挟まるから、ベロで取ります」

つまり、インプラントの上部構造を緩め、歯を頬側に傾けた犯人は“舌”だったのです。舌の力により、インプラントが緩み、上部構造が動いてしまうので、咀嚼時の干渉になり破折したものと推理できるのではないのでしょうか？

思い出すと、何度も取れてしまう別の患者様。写真のは⑬のインプラント装着時(図4 2009年11月)。

⑬は合計3回やり直しをして写真のようになっていました(図5 2013年1月)。明らかに、⑬が頬側に転位しているのです。

インプラントが動くことは考えられませんが、歯が動くことは十分にあり得ます。⑬は修復し直していません。これだけ頬側に押す力がかかっているとすれば犯人は「舌」と考えるのが道理ではないでしょうか？

もちろん、「食渣」が詰まらないような上部構造と隣接面形態を作ることが大切で、その点が私の至らないところですが、

舌が歯を動かす！それが崩壊の力になる可能性があるという発見は私にとって驚きであるとともに、興味深いものでした。

崩壊するには理由があります。もちろん炎症のコントロールが、歯科医院で行う最も重要なことではありますが、炎症だけではなく歯を壊す原因を取り除いていくことの大切さを教えられた症例であり、発見でした。

規格性のある写真を撮り、それを長期に観察することで気づくことは多いと思います。今回の発見は、とても驚きでしたが、同時に規格写真を継続して撮り続ける必要性を強く感じました。



図4 インプラント装着時(2009年11月)



図5 2013年1月

○第5回ヘルスケア・ウエスト研修会

2013年7月28日(日) 10:00～17:00

「みんなで学ぶペリオドントロジー」

一病因論に基づいた予納と治療の実践のために

場所：小倉歯科医師会館

講師：天野敦雄 教授(大阪大学大学院予防歯科学分野)

藤木省三(神戸市開業)、野村朱美、原田郁子(大西歯科・歯科衛生士)

申し込み：桂川歯科医院(舟木)

Fax 0948-65-5388

○臨床基礎歯科談話会

大住祐子先生特別講演会

「長く関わって経過観察を続けましょう」

2013年8月4日(日) 13:00～16:00

場所：東京医科歯科大学 歯科棟南4F 特別講堂

定員：150名(定員になり次第受付終了)

申込締切：2013年7月21日

参加費：

歯科医師：10,000円

歯科衛生士・歯科技工士：6,000円

歯科助手・学生：3,000円

申し込み・お問い合わせ：

友和デンタルスタジオ(行田)

Fax. 03-5985-4756 TEL. 03-5985-4755

nagataka.kouda@gmail.com

振込先：みずほ銀行茅ヶ崎支店

普 2728543

口座名義：臨床基礎歯科談話会

(振り込み確認をもって受付完了)

○健康・食育マスター講座 名古屋開講

健康理論(全2日)

2013年10月13・14日 9:30～16:30

受講料：52,500円(税込み)

食事理論(全2日)

2013年11月23・24日 9:30～16:30

受講料：52,500円(税込み)

場所：ウイングあいち(名古屋駅から徒歩5分)

健康で美しくいるためには、私たちの身体を作っている「食事」について正しい知識が必要です。

正しい食の知識と健康の関係を学ぶ「健康理論」と食のアドバイスをする時に役立つ「食事理論」を学びます。

お問い合わせ・お申し込み：

NPO 法人 口腔の健康を通して地球環境を守る会(田窪)

info@healthy-teeth.org

TEL. 090-3380-8619



☆情報交流の場としてご利用ください。掲載希望の方はニュースレター担当 渡辺までヘルスケア歯科診療に役立つものであればどんな規模でもOKです。

WHY KIDS ?

「おおつきず」開業から満3年を迎えて

大月 晃（富士見市開業）

前回、デンタルホームについて少し言及しました。これは私がたまたま『Early Childhood Oral Health』という本の中で知った、聞きかじりの知識でしかありませんでしたが、一般歯科医師が、広く乳幼児を0歳から定期管理して、専門医、専門小児歯科医師、その他の地域のあらゆる職種（保育士や栄養士、行政や企業、地域などなど）と連携し、「家族が中心」にある、という考え方のようです。この考え方にはとても共感しています。

おおつきずは2010年の6月に開業しました。華々しい開業とは裏腹に、経営的に非常に苦しい時期が長く続きましたが、臨床的には一定の成果を出すことができたのではないかと考えています。

今回は、当院の状況を少し数字を交えてご提示いたします。

図1のグラフはおおつきずの最近1年間の新患の年齢分布です。0歳から3歳までが、全体の84%を占めています。0

歳からの定期管理、まだ乳歯のう蝕が一本もない、通常歯科を受診していない、3歳以下の乳幼児を定期管理する、ということについては成功していると考えています。

う蝕ができる年齢まで待って、そこで治療し、また新たにう蝕ができないようにメンテナンスするのではなく、「出来ないうちに」定期管理することが、重要なことだと考えています。

メンテナンスという言葉は、「治療した後、再発しないようにする」という意味合いを感じます。もっと先回りすることこそ、う蝕の予防には効果的だと思います。

図2のグラフは、初診でのう蝕があるかどうかを示しています。初診でう蝕のある子どもが2～3歳で急に増えてしまいます。反対に、1歳ではう蝕のない子どもがとても多いです。これを考えても、早い時期からの介入が必要と考えられます。

図3は、歯科疾患自体調査（平成23年度）に比べて、当院のコンプライヤーが、どの程度う蝕を発症しているかを示したものです。このグラフを見ると、定期管理をしているとう蝕発生率が下がりますが、さらに、初診時カリエスフリーだと、さらにう蝕の発生率が低いことがわかります。つまり、う蝕ができる前のカリエスフリーの、かなり早い時期に定期管理をするべきだ、ということだと感じます。ここでコンプライヤーと呼んでいるのは、定期管理予防に6ヵ月あけずに来院している子どものことです。

図4は、初診時にう蝕のない子ども（365人 平均2.7歳）は、初診時にう蝕のある子ども（97人 平均4.0歳）に比べると、37.7%も新しいう蝕の発生が少なくなることを示しています。

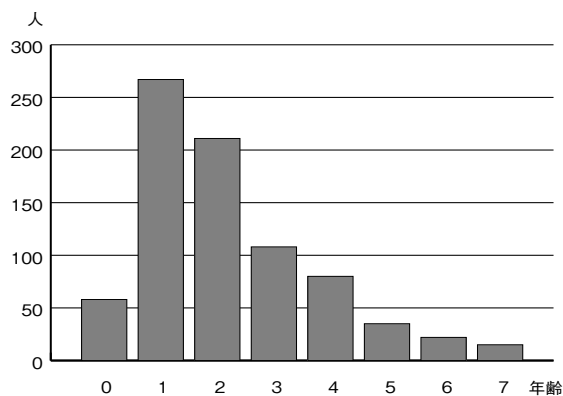


図1 最近1年間の新患年齢分布

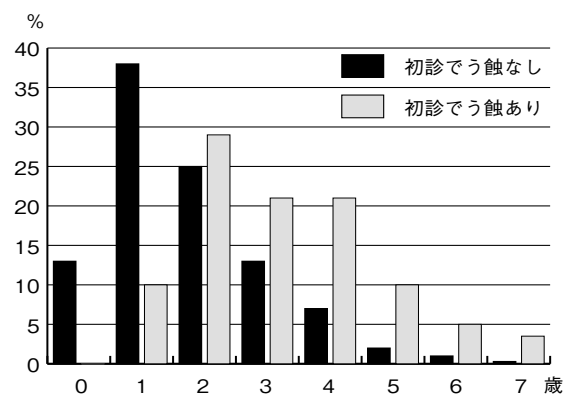


図2 初診時のう蝕発生割合

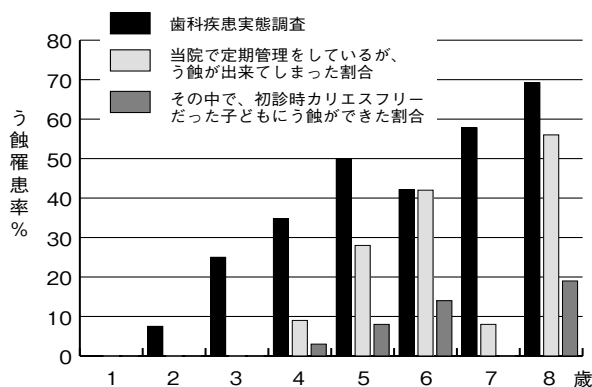
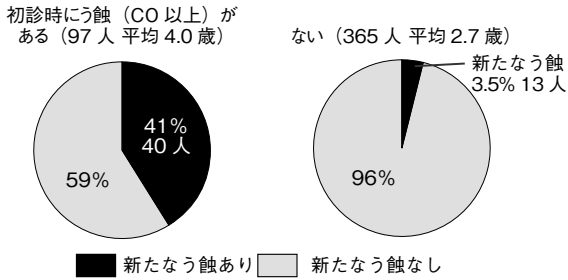


図3 おおつきずコンプライヤーの年齢別う蝕発生状況の比較



H22.6/1~H24/6/1 までの初診患者で H25/3/1~6/1 に来院している患者の最新来院時の新しいう蝕の発生。6 ヶ月以上の中断がある患者は除く

図 4 おおつきず初診時のう蝕 (CO) 以上の有無とその後のう蝕発生状況 (0~8 歳)

これもう蝕がない低年齢からの早期介入の有益性を示していると言えるのではないのでしょうか。

以上、当院がう蝕の予防を考えたときに、なるべく早くから、早期介入を！ と考えている理由をお示しました。

まだまだデータは粗いかも知れませんが、今後精度を上げていきたいと考えています。

まだ、ここでは母親を同時に予防定期管理することの重要性については、語れていません。う蝕以外の問題も語れていません。



ヘルスケアフォーラム

東京ヘルスケア・スタッフミーティング

2013 年 5 月 12 日 ほくとびあ 13F 飛鳥ホール

参加して

川嶋礼子 (川嶋歯科医院勤務)

通常のセミナーや学会ですと、一方的に話を聞いて終わりというかたちになりがちですが、東京ヘルスケア・スタッフミーティングはグループディスカッションを重視したプログラムですので聞きっ放しにはなりません。いろいろな歯科医院から参加した様々な職種やキャリア年数の人が、各テーブルで意見交換をしてまとめて発表、続きは各歯科医院に持ち帰って日々の臨床に役立てていく。アットホームな中にもちょっと緊張感があるかたちなので、毎回出席するたびに気づきがあり、とても価値あるものだと感じています。

今回の東京ヘルスケアミーティングは、

- ・ 禁煙支援について
- ・ ICDAS の臨床応用
- ・ 13~18 歳のメンテナンスについて

の三つのテーマについて、それぞれ講演と各歯科医院の発表、各テーブルでのディスカッションとその発表というスタイルでした。

禁煙支援については、禁煙喫煙に関する俗説、「聞いたことがあるけど実際どうなんだろう？」といった項目にそれぞれ渡辺 勝さんのわかりやすい解説、何よりも「禁煙支援は愛」という熱い言葉が印象に残りました。

ICDAS は、言葉だけが先走りしていた感があったので、実際導入してどのように臨床応用しているかの具体的なお話



が聞きたいへん参考になり、また知識の再確認ができてよかったです。クイズ形式で行った ICDAS 評価は、予想以上に皆の評価が分かれ、そういった部分が今後の課題なのかと改めて感じました。

13~18 歳のメンテナンスについては、どの歯科医院でも他年齢層に比べて明らかに受診率が低いことがわかっています。それだけに、一生懸命に理由を探ったり、それぞれの立場や事情に応じて対策を立ててきたということがとてもよくわかり、たいへん参考になりました。結局は、本人に対する働きかけはもちろん、学校教育のシステム、家族との関係、幼少期からの持続的な早期予防教育など、どれか一つクリアできれば OK というのではなく、幅広い方向からアプローチしなくてはならないということを実感しました。

府川美佐子さんの豊かな経験に裏打ちされた長期経過症例の発表は、説得力にあふれ、テクニックだけでなく伝えることの重要性を強く感じました。

有意義な時間を皆と共有でき、これからの臨床に生かしていきたいと思えます。ありがとうございました。



ヘルスケアミーティング 2013

2013年10月26日(土), 27日(日)

会場: シェーンバッハ・サボア (東京平河町・砂防会館別館)

1日目 A会場

13:10 ~ 14:50 歯周炎の予防と治療 —病因論と時間軸を踏まえて— 岡 賢二 (吹田市開業)

15:20 ~ 16:50 歯日常臨床から考えるカリオロジー 伊藤 中 (茨木市開業)

1日目は、会員の勉強に重きをおいた半日の教育講演プログラムです。カリオロジーとペリオドントロジーの基本をしっかりと勉強するというのがややおそろそかになっているのではないかと、という声に応えるものです。2日目のメインシンポジウムの企画を前に歯周治療とメイン

テナンスは『病因論と時間軸でかたる **Biology-Oriented Dentistry**』を出版した岡 賢二さん、カリエスは『削らう蝕 削らないう蝕』を出版された伊藤 中さんを講師に招いた贅沢なプログラムです。



岡 賢二 (吹田市開業)

研究会設立時に中心となったメンバーのひとり、元コアメンバー。

1977年 大阪大学歯学部卒業とともに同大学歯科補綴学第一入局

1982年 吹田市にて岡歯科医院を開業

熊谷崇とともに、『クリニカルカリオロジー』(医歯薬出版, 1996)、『実践ペリオドントロジー』(医歯薬出版, 1999)、『実践カリオロジー』(医歯薬出版, 1999)

近著に多数の経過観察症例を詳細に提示した『病因論と時間軸でかたる Biology-Oriented Dentistry メインテナンス治療累計 1,000年の症例アーカイブス』(クインテッセンス出版, 2011)、歯周病学の最先端の研究と臨床の接点をビジュアルな1冊にまとめた天野敦雄教授、村上伸也教授との共同監修『ビジュアル 歯周病を科学する』(クインテッセンス出版, 2012)がある。

近著に多数の経過観察症例を詳細に提示した『病因論と時間軸でかたる Biology-Oriented Dentistry メインテナンス治療累計 1,000年の症例アーカイブス』(クインテッセンス出版, 2011)、歯周病学の最先端の研究と臨床の接点をビジュアルな1冊にまとめた天野敦雄教授、村上伸也教授との共同監修『ビジュアル 歯周病を科学する』(クインテッセンス出版, 2012)がある。



伊藤 中 (茨木市開業)

研究会設立時に中心となったメンバーのひとり、元コアメンバー。

1990年 大阪大学歯学部卒業

1993年 茨木市に伊藤歯科クリニック開業

2011年 大阪大学歯学部 臨床准教授

臨床の師である岡賢二譲りの経過観察を着実につづける臨床で高い評価を受けているが、ウイステリアに蓄積した臨床データを元にリスク管理と定期受診がどのように成人のう蝕を抑制するかについて報告した論文によって国際的に高い評価を受けた。Ito A et al.: How regular visits and preventive programs affect onset of adult caries. J Dent Res. 2012 Jul;91(7): 52S-58S.

近著に今里聡教授監修、林美加子教授との共同編集による『削らう蝕 削らないう蝕』(クインテッセンス出版, 2013)がある。

1 日目 B 会場 患者さんと自分を守る滅菌システムを考える ～あなたはその器具で治療されたいですか～

(企画・落合真理子)

13:10～14:50

劇：劇団ハイジ

当院の滅菌システム・話題提供

- あべ歯科医院（徳島県）
- 宇田川歯科医院（東京都）
- 河野歯科医院（東京都）
- 福田デンタルクリニック（大阪府）

歯科医院の滅菌システムは医院ごとにかかなりのばらつきがあるということは以前より知られていましたが、器具が足りない・適切な滅菌器がない・コストがかかる・スペース不足などの問題を挙げ、本来必須であるべき滅菌システムのスタンダードプレコーションを頭では理解していても、実際には着手せずに漫然と日々の診療を行っている歯科医院も少なくありません。

細かな器具を扱う歯科医院での滅菌システムについて、

参加者同士のディスカッションからそれぞれの医院の問題点を浮き彫りにし、患者さんを院内感染から守ることはもちろん、自分たちを守る滅菌システムについて考えます。

また、スタッフ向けの時間ということで昨年好評をいただきました寸劇も取り入れて楽しい雰囲気でも進めて参りたいと考えています。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

1 日目 B 会場 みんなでステップアップ ～明日からできる医院づくり～

(企画・セミナー委員会)

15:50～17:40

- 司会 沼澤秀之 林 浩司
- 発表者 丸山歯科医院（神戸市）のみなさん
- 川嶋歯科医院（国立市）のみなさん

ヘルスケア歯科学会に入ったけれど何から始めたらいいのだろう、スタッフにこの診療の良さを伝えたいけどうまく伝えられない、そんな悩みを抱えている会員の方も多いのではないのでしょうか。

このプログラムでは、ステップアップガイドを活用した医院づくりやスタッフとともに作る医院づくりについて、また認証取得までの苦労や気付きと成長について、

歯科医師とスタッフがそれぞれの視点から発表します。

ディスカッションでは、誰もが直面する問題についてその解決策をみなさんと一緒に見つけたいと思います。

これからヘルスケア診療をはじめの人、ちょっと立ち止まっている人、認証を考えている人、必見のプログラムです。

ぜひ、医院全員でご参加ください。

	A 会場（信濃+淀）	B 会場（木曾）	
12:00			
13:00	13:10～14:50 歯周炎の予防と治療 ー病因論と時間軸を踏まえてー 岡 賢二（大阪府吹田市）	13:10～14:50 コデンタル・セッション 患者さんと自分を守る滅菌システムを考える ーあなたはその器具で治療されたいですかー	
14:00			
15:00	15:20～16:50 日常臨床から考えるカリオロジー 伊藤 中（大阪府吹田市）	15:00～15:40 ポスタープレゼン（自由テーマ）	C 会場 3F 会議室（立山） 17:00～18:30 症例報告とディスカッション
16:00		15:50～17:40 コデンタル・セッション みんなでステップアップ ー明日からできる医院づくりー	
17:00		17:50～18:30 ポスタープレゼン（リスク管理）	
18:00	18:40～20:40 交流会+懇親会（全員参加）		
19:00			

1 日目

1 日目 B 会場 ポスター発表 1・2

(企画・セミナー委員会 岡本昌樹)

- 15:00～15:40 ポスタープレゼンテーション (自由テーマ)
座長 中本知之, 林 浩司
- 17:50～18:30 ポスタープレゼンテーション (私の医院のう蝕や歯周病のリスクアセスメント)
座長 澤幡佳孝, 雨宮博志

参加締め切り
迫る!

○ テーマ

① 「自由テーマ」

症例発表, 地域医療, マネージメント, 等々本会の活動に添った内容でしたら, なんでも結構です。

② 「私の医院のう蝕や歯周病のリスクアセスメント (今年のテーマ)」

カリエス, ペリオ, はもちろん, 全身疾患, 生活習慣, 等, 日常の診療のなかで出会う様々なリスクについて自由に発表してください。

※①, ② いずれかを選択してください。

○ 参加資格

当会正会員診療所及び個人単位 (正会員, 準会員)
発表者は発表当日必ず出席ください。 (10月26日(土)午後)

○ 発表方法

前回同様ポスター展示がメインですが, より理解していただくためにポスターの内容を説明するプレゼンをあせて行います。

① スライドの作成について

パワーポイント 5 枚以内 (1 枚目テーマ・発表者名, 2～4 枚目発表内容, 5 枚目考察・まとめ)

1 枚目のテーマ, 発表者名, と 5 枚目の考察は必須です。標準画面サイズで作成してください。

B 会場にて口頭発表 (発表 3 分, 質疑 1 分)

② ポスターの作製について

ポスターサイズ

最大 W900 × H2100mm

最小で模造紙大 W728 × H1030mm

診療所名, 発表者名はこのスペースに含みます。

掲示は, ポスターのみとします。机の用意は, ありません。

③ 事前抄録について

プログラム用事前抄録 (400 字程度) を提出してください。

○ 表彰

最優秀賞 (1) 優秀賞 (1) 審査員特別賞 (2)

敢闘賞 (数名)

参加者による投票および審査員による選考により決定し, 授与。

○ 申し込み締め切り 2013 年 7 月 10 日 (水)

ご質問, お問い合わせは岡本までお願いします。

e-mail : masaki@okamotoshika.jp 岡本昌樹

ポスター展示と法人会員展示は 26 日 12 時より 27 日 16 時まで常時展示

1 日目 C 会場 症例報告とディスカッション

- 17:00～18:30 プレゼンテーション (症例報告)
座長 高橋 啓 千草隆治

ヘルスケア型の診療における症例とは, どんなものでしょうか? ヘルスケア型症例のケースプレゼンテーションを元にディスカッションを行います。より具体的に

臨床を見つめていきましょう。聴講自由です。ご参加ください。(発表症例公募中)

2 日目 A 会場 特別シンポジウム 日本のう蝕治療を変える
 カリエスリスクマネジメントの普及とその問題点の克服

9:50 ~ 12:00 現状のう蝕治療の問題点

杉山精一 (日本ヘルスケア歯科学会代表)

基調講演：新しいう蝕治療の概念について (逐次通訳)

Domenick T. Zero, DDS, MS (インディアナ大学歯学部教授)

インディアナ大学 Oral health Research institute 副所長・研究主任, Preventive and Community Dentistry 主任教授, N. Pitts や A. Ismail とともに ICDAS の普及を進める ICDAS Foundation の 5 人のボードメンバーの 1 人である

13:10 ~ 16:30 シンポジウム

新しいう蝕治療マネジメントの実際と成果の報告 杉山精一
う蝕治療ガイドラインの紹介と今後の展望

桃井保子教授 (日本歯科保存学会う蝕治療ガイドライン委員会・鶴見大学)

政策声明と今後の展望 花田信弘教授 (日本口腔衛生学会う蝕委員会・鶴見大学)

う蝕の過去, 現在, 未来 藤原 卓 (日本小児歯科学会・長崎大学)

ディスカッション D. T. Zero / 桃井保子 / 花田信弘 / 藤原 卓 / 杉山精一

2 日目 B 会場 歯周病が治るとはどういうことか

(企画・落合真理子)

13:10 ~ 16:30 講師：関野 愉 (日本歯科大学准教授・歯周病学)

症例発表 (話題提供)

さいとう歯科 (北海道) 生富真由美さん
 千草歯科 (福岡県) 櫻井彩乃さん

武内歯科 (東京都) 小林美佳さん・仲村麻衣子さん
 たかはし歯科 (愛媛県) 吉弘幸さん・山本瑛子さん

このセッションでは、比較的経験の浅い歯科衛生士を対象に歯周治療後の治癒形態の特徴と歯科衛生士が行う歯周治療の効果と限界について考えます。

講師には、『歯周病学の迷信と真実』(クインテッセンス出版)を出版され、分かりやすい講演が歯科衛生士の間で評判の関野 愉さんをお招きし、前半を歯周病と歯周治療後の治癒についてご講演いただきます。

後半ではヘルスケア歯科衛生士が実際に担当し、期待通りに治癒しなかった症例を発表し、関野 愉さんから解説いただくという臨床から学ぶプログラムです。

また、「歯周病が治る、治らない」と判断するためには規格性のある検査データが必要不可欠ですから、それらを学ぶことのできる当学会の歯科衛生士プログラムの役割についても紹介させていただきます。

<p>9:00 シンポジウム 日本のう蝕治療を変える 9:50~12:00</p> <p>10:00 趣旨 杉山精一 基調講演</p> <p>11:00 新しいう蝕治療の概念について D.T.Zero (逐次通訳)</p> <p>12:00</p> <p>13:00 13:10~16:30 シンポジウム カリエスマネジメントの普及とその問題点の克服 共催 日本口腔衛生学会・日本ヘルスケア歯科学会 後援 日本歯科医師会・日本小児歯科学会 花田信弘教授 (日本口腔衛生学会う蝕委員会・鶴見大学) 藤原 卓教授 (日本小児歯科学会・長崎大学) 桃井保子教授 (日本歯科保存学会ガイドライン委員会・鶴見大学) 杉山精一 (日本ヘルスケア歯科学会) Prof. D.T.Zero (インディアナ大学歯学部)</p>	<p>13:10~16:30 スタッフセミナー 歯周病が治るとはどういうことか</p> <p>関野 愉 (日本歯科大学准教授) 落合真理子 (歯科衛生士・ひかり歯科医院)</p>	<p>2 日目</p>
---	---	--------------------

Revolution of Caries treatment in Japan

特別シンポジウム

日本のう蝕治療を変える

カリエスマネジメントの普及とその問題点の克服

2013年 10月 26・27日(日) シェーンバッハ・サボア (東京平河町・砂防会館別館)

特別シンポジウム

共催：一般社団法人日本口腔衛生学会／一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会
後援：公益社団法人日本歯科医師会／一般社団法人日本小児歯科学会
協力：特定非営利活動法人日本歯科保存学会／う蝕治療ガイドライン作成委員会

タイムスケジュール

1日目(26日) A会場	
歯周炎の予防と治療 一病因論と時間軸を踏まえてー 岡 賢二(吹田市開業)	日常臨床から考えるカリオロジー 伊藤 中(茨木市開業)
1日目(26日) B会場	
コデンタル・セッション	
患者さんと自分を守る滅菌システムを考える —あなたはその器具で治療されたいですか—	
コデンタル・セッション	
みんなでステップアップ —明日からできる医院づくり—	

2日目(27日) A会場		午前
①現状のう蝕治療の問題点 (日本ヘルスケア歯科学会・代表)	杉山精一	
②基調講演：新しいう蝕治療の概念について (逐次通訳)	Domenick T. Zero, DDS, MS (インディアナ大学歯学部教授)	
2日目(27日) A会場		午後
シンポジウム		
「カリエスマネジメントの普及とその問題点の克服」		
・新しいう蝕治療マネジメントの実際と成果の報告	杉山精一	
・う蝕治療ガイドラインの紹介と今後の展望	桃井保子 教授 (日本歯科保存学会う蝕治療ガイドライン委員会・鶴見大学)	
・政策声明と今後の展望	花田信弘 教授 (日本口腔衛生学会う蝕委員会・鶴見大学)	
・う蝕の過去、現在、未来	藤原卓 教授 (日本小児歯科学会・長崎大学)	
ディスカッション D. T. Zero / 桃井保子 / 花田信弘 / 藤原卓 / 杉山精一		

2日目(27日) B会場		午後
スタッフセミナー		
歯周病が治るとはどのようなことか		
関野 愉(日本歯科大学生命歯学部准教授)	落合真理子(歯科衛生士・ひかり歯科医院)	

お知らせ・ご注意

- ・ 2日間の参加費には会員参加型の懇親会(1日目), 昼食(2日目)の費用を含みます。
- ・ 共催・後援・協力の団体は, 日本ヘルスケア歯科学会会員と同一条件で, シンポジウムのみの参加も可能です。
- ・ 事前にキャンセルされた場合は, 手数料を差し引いた参加費を返金します。但し, 10月7日以降のキャンセルは, ご返金できませんので, ご了承ください。

参加費

	2日目のみ	両日参加
会員歯科医師	8,000円	15,000円
会員・準会員コデンタル	4,000円	7,000円
非会員歯科医師		18,000円
非会員コデンタル		7,000円
学生/院生/研修医	1,000円	3,000円
共催/後援/協力学会会員歯科医師	8,000円	15,000円
共催/後援/協力学会会員コデンタル	4,000円	7,000円

お申し込み・お問い合わせ…

下記申込み欄にご記入後, 事務局までFAXまたは郵便にてお送りください。

〒112-0014 東京都文京区関口1-45-15-104

一般社団法人 日本ヘルスケア歯科学会事務局
FAX: 03-3260-4906 TEL: 03-5227-3716
<http://www.healthcare.gr.jp/>



PC, スマートフォン, ケータイからもお申し込みいただけます。

参加申し込み Fax. 03-3260-4906

参加を申し込みます (news16-3)

ヘルスケアミーティング 2013 参加申込み (会員専用)

(必要項目ご記入, 該当欄に✓印を記入ください)

フリガナ _____	会員番号 _____	会員歯科医師 (<input type="checkbox"/> HC <input type="checkbox"/> 口衛 <input type="checkbox"/> 日歯 <input type="checkbox"/> 小児 <input type="checkbox"/> 保存) : <input type="checkbox"/> 8,000円(2日目のみ) <input type="checkbox"/> 15,000円(両日)
ご氏名 _____		会員コデンタル (<input type="checkbox"/> HC <input type="checkbox"/> 口衛 <input type="checkbox"/> 小児 <input type="checkbox"/> 保存) : <input type="checkbox"/> 4,000円(2日目のみ) <input type="checkbox"/> 7,000円(両日)
		非会員歯科医師 : <input type="checkbox"/> 18,000円(両日) 非会員コデンタル : <input type="checkbox"/> 7,000円(両日)
		研修医/学生 : <input type="checkbox"/> 1,000円(2日目のみ) <input type="checkbox"/> 3,000円(両日)
フリガナ _____	会員番号 _____	会員歯科医師 (<input type="checkbox"/> HC <input type="checkbox"/> 口衛 <input type="checkbox"/> 日歯 <input type="checkbox"/> 小児 <input type="checkbox"/> 保存) : <input type="checkbox"/> 8,000円(2日目のみ) <input type="checkbox"/> 15,000円(両日)
ご氏名 _____		会員コデンタル (<input type="checkbox"/> HC <input type="checkbox"/> 口衛 <input type="checkbox"/> 小児 <input type="checkbox"/> 保存) : <input type="checkbox"/> 4,000円(2日目のみ) <input type="checkbox"/> 7,000円(両日)
		非会員歯科医師 : <input type="checkbox"/> 18,000円(両日) 非会員コデンタル : <input type="checkbox"/> 7,000円(両日)
		研修医/学生 : <input type="checkbox"/> 1,000円(2日目のみ) <input type="checkbox"/> 3,000円(両日)

勤務先・診療所名 _____	参加申し込み人数 _____	合計金額 _____
	人	円
住所 〒 _____	電話番号 _____	-
	FAX 番号 _____	-